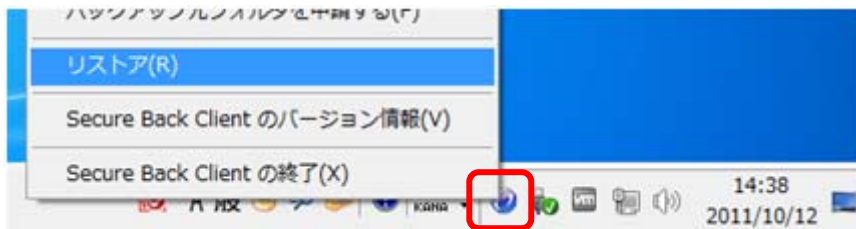


Windows Live メール のデータ復旧方法

Windows Live メールは1メール1ファイルで管理されているため1通単位での復旧が可能です。ファイル名が「00E0724E-000005B6.eml」のように件名ではなく任意の英数字で保存されているため、どれがどのメールかわかりません。

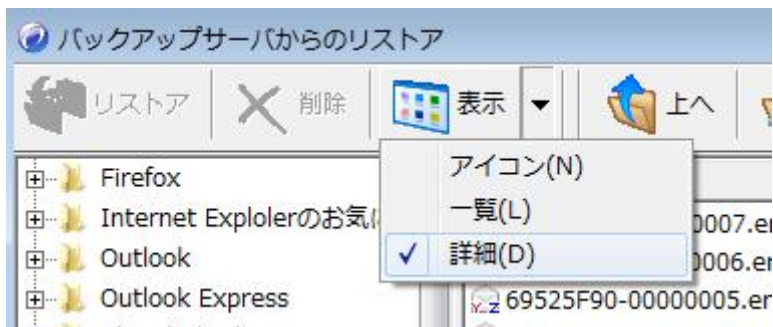
そこで、バックアップデータの更新日時を参考にリストアするデータを最小限に抑えてメールデータの復旧を行う方法を紹介します。

1. SecureBackClient アイコンを右クリックして表示されるメニューから[リストア]を選択します。



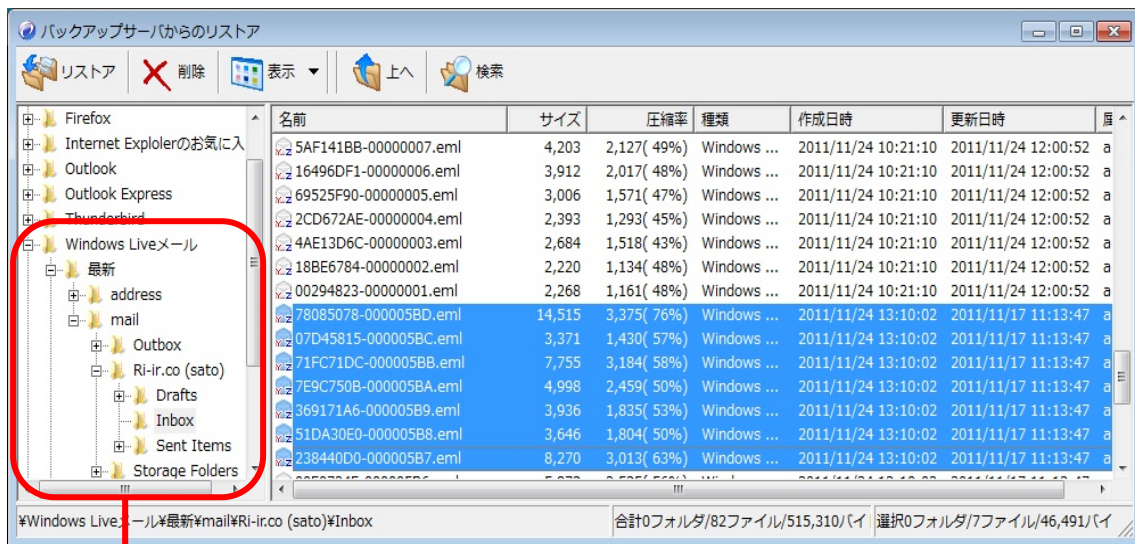
右クリック

2. リストア画面が表示されたら、表示を「詳細」にします。
※詳細表示にすることにより手順3にある「更新日時」が確認可能になります



3. [Windows Live メール]→[最新]→[mail]→[Ri-ir.co(sato)]→[Inbox]の順に開き、復旧させたいメールを「更新日時」からある程度判断します。

※[Ri-ir.co(sato)] はアカウント設定毎に異なります

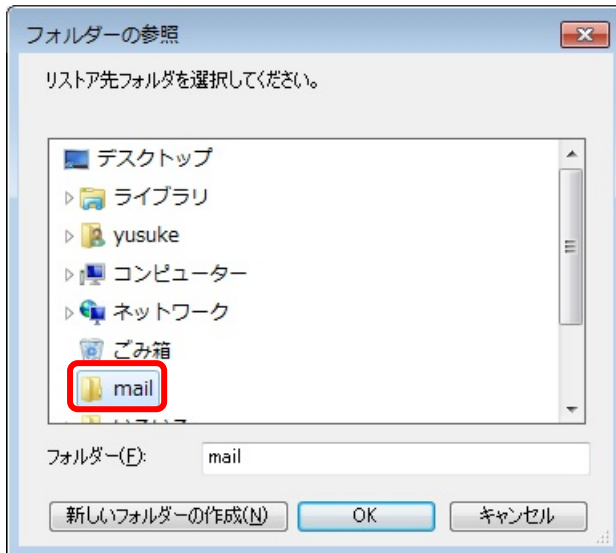


ポイント！！

拡張子が「.eml」のファイル1つが1通のメールデータですが、任意の英数字がファイル名のためどのファイルがどのメールかはわかりません。

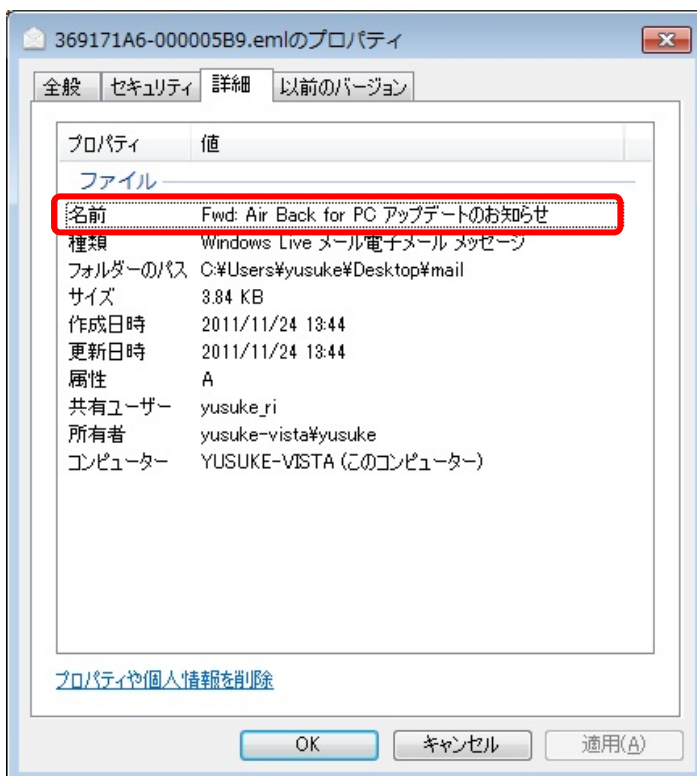
そこで、「更新日時」から判断します。今回は2011/11/17のメールデータを復旧させたいので、更新日時が2011/11/17となっているファイルを複数選択してリストアします。

4. [リストア]をクリックするとリストア先フォルダ（データを戻す場所）を選択する画面が表示されますので、空き領域のある場所を選択し[OK]をクリックします。
※今回はデスクトップに作成した「mail」フォルダを選択します。

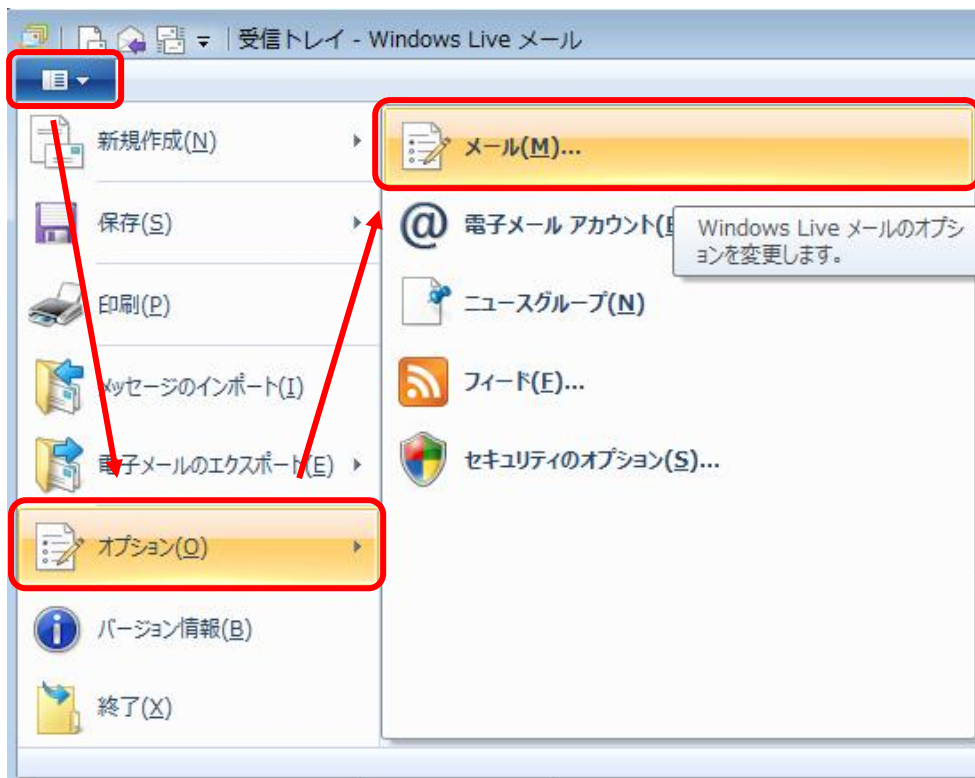


補足！！

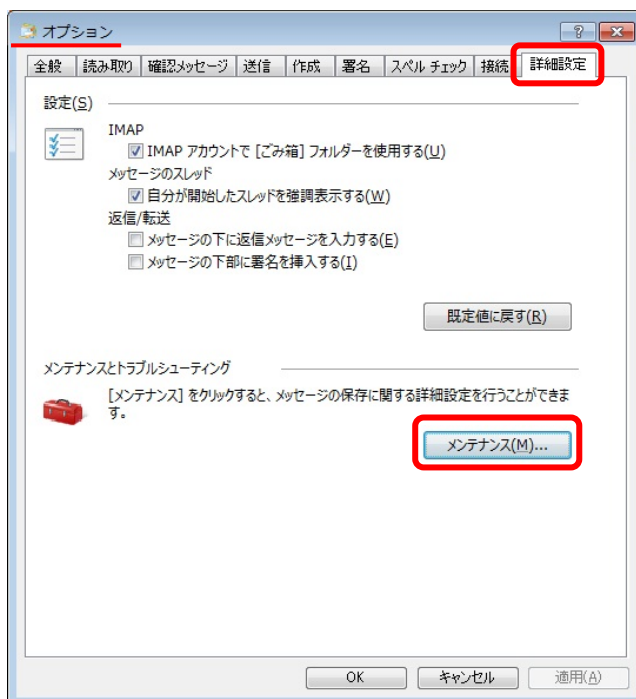
リストアした「.eml」ファイルのプロパティ→詳細にある「名前」が件名です。



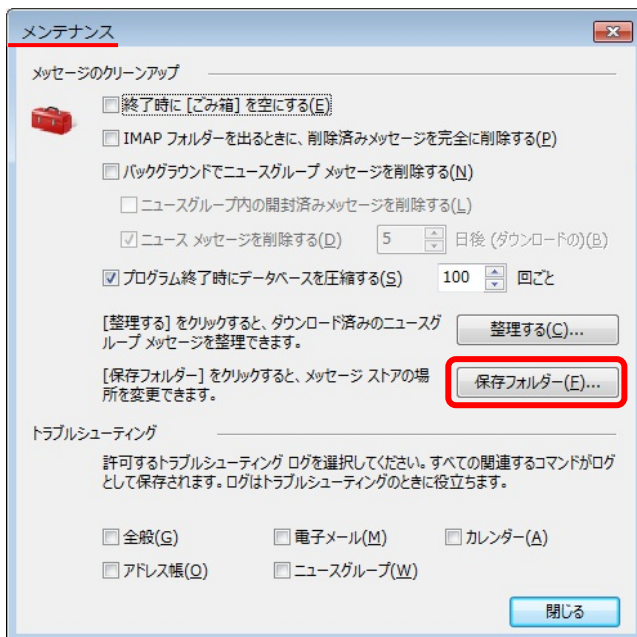
5. Windows Live メールを起動しメールデータ保存場所を調べます。



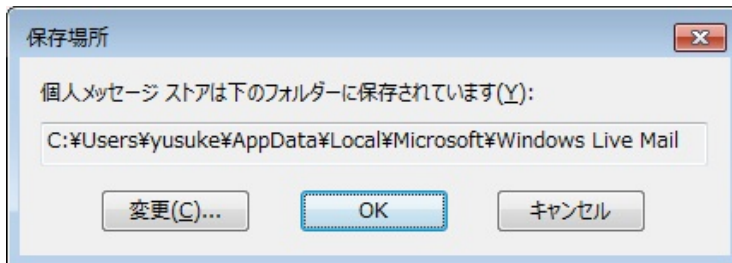
オプション画面が表示されたら [詳細] → [メンテナンス]をクリックします。



メンテナンス画面が表示されたら[保存フォルダー]をクリックします。



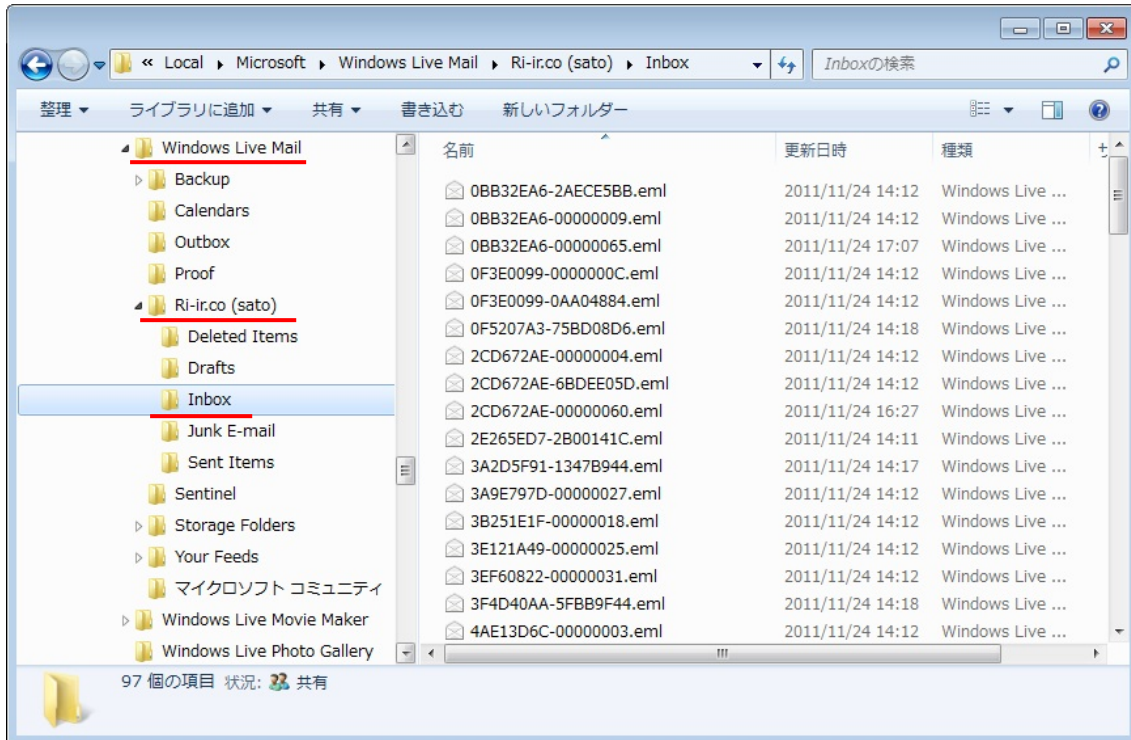
保存場所を確認します。



- 手順 5 で確認したメールデータ保存場所をエクスプローラで表示します。
※今回は「C:¥Users¥yusuke¥AppData¥Local¥Microsoft¥Windows Live Mail」を開きます。

7. 表示されたフォルダ内の [Ri-ir.co (sato)] → [Inbox] を開きリストアしたデータをここにコピーします。

※同名ファイルが存在する場合は上書きを問われますが、上書きしてもスキップしてもどちらでもよいです



以上で作業は終了です。

注意！！

Windows Live メールのインポート機能を利用する方法はマニュアルを参照してください。